



退職者の会結成50年! みんなの力を結集し 新たなスタートを!

退
県協
ニュース

第44号

NTT労働組合退職者の会
福島県支部協議会
福島市山下町5-10 TEL.024-534-1144

発行責任者●伏見 吉弘
印刷●陽光社印刷株式会社

年頭挨拶



NTT労働組合退職者の会
福島県支部協議会
会長 伏見 吉弘

新年あけましておめでとうございませう。
昨年十一月に施行されました福島県議選では、五期目に挑戦した「古市三久君」を厳しい状況の中で当選に押し上げていただき、まずは敬意を表したいと思います。
また、一方で立憲幹事長であった「高橋秀樹君」の議席を守ることができなかったことについては、率直にお詫び申し上げます。
さて、昨年の十月に開催しました「NTT労組退職者の会福島県支部協議会第二十五回総会」は、結成五十周年の節目の総会とし、総会終了後に記念レセプションを開催しました。
各地区協の総会においても、五十周年を記念し創意工夫した総会や、記念品の配布等催しが行われました。
何はともあれ、コロナが落ちつきを見せる中、対面での総会が開催されたこと大きな喜びととらえております。



コロナ・インフル
エンザに負けるな!

新しい年を迎えるにあたり、今年の重点課題について会員の皆様にお伝えするとともに、多くの会員の皆様のご協力をいただくようお願いし、新年のごあいさつに代えたいと思います。
その一は、現役組合員の退職予定者が大きく落ち込むことにより、退職者の会の高齢化は避けられない状況にあるということです。
今春六十五歳で退職予定の組合員は七名の予定です。これが今の現実となっております。会員の高齢化と会員の減少は避けられません。
若い会員の減少と会員の高齢化が進む中で、会員間の交流をどう図るのか、組織運営も今までのままで対応できるのか等、組織全体をゼロから検証、見直しをしていくことが重要になってきていると考えています。
多くの皆様より、地区協・支部協にご意見を寄せていただき、ありがとうございます。
その二は、緊急連絡先把握の取り組みです。
自然災害が多発している昨今、いつ・どこで誰が災害に遭遇するか



からない時代です。
いざというときに、会員の安否確認をするため、全国的に「別居の親族とその住所・携帯電話」を調査し、全国どこからでも安否確認ができるよう「共済システム」に登録するという取り組みです。
東日本大震災時に、私たちは安否確認に三ヶ月近くかかりました。その教訓から携帯電話の把握と、そのデータの共有化できるシステムの構築が欠くことのできない必須課題と思えます。
これまでにない大きな取り組みとなりますが、会員皆様のご協力のもと、これらの課題に取り組んでいかなければなりません。
福島県支部協議会一丸となり、取り組んでいきましょう。



立憲民主党 参議院議員
(NTT 労組組織内)
吉川 沙織

2024年、新たな年を迎えました。2006年7月末日にNTTを退職して以降、退職者の先輩の皆様には温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。
昨今、NTTを巡る話題が多いことから、2024年最初のご挨拶は情報通信に特化したいと思っております。私、吉川さおりは2007年7月の初当選以降、経済産業委員長の任にある間を除き、一貫して情報通信政策を所管し、NTTの監督官庁でもある総務省の案件を扱う総務委員会に所属し、この間、与野党双方の立場で委員会の取りまとめを担う筆頭理事を複数回経験してきました。
2009年から2010年にかけてはNTT民営化以降、多くの仲間の方で敷設した光の設備がNTTから切り離されそうになることを何とか防いだ光の道構想、公正競争の観点からもNTTから光の設備を切り離さないことが望ましいことでしたので、本当に大変でしたが、自信を持って対応したことには始まり、東日本大震災発生後は、被災地の情報通信設備の復旧状況を参議院総務委員会として行うことを主導し、各党各会派の垣根を越えて理解者を増やす取り組みも行っていました。
その後も法改正等、多岐にわたる対応をさせて頂いてまいりましたが、今は民営化にあわせて制定されたNTT法と電気通信事業法の在り方が大きな話題となっています。事業と雇用は表裏一体の関係にありますので、国民利用者の利便性に資する点を尊重しながら議論に携わっていきたく考えています。議論の行方は、先輩の皆様にも様々な影響する側面もありますので、NTTグループの職場で働いた後輩の一人として、しっかり取り組んでまいります。
これまでの国政活動で取り組んできた情報通信以外の政策課題も含め、初心と感謝の気持ちを常に携え、生活者・勤労者・納税者の立場に立った政治の推進に向けて力を尽くしてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



福島県議会議員
古市 三久
NTT 労組組織重点
(立憲民主党副代表)



本年も
宜しくお願
い申し上げます

新年あけましておめでとうございませう。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
昨年の県議会選挙におきましては、大変お世話になりました。大変厳しい選挙戦を乗り切り勝利することができましたのも退職者の会のおかげです。衷心より御礼申し上げます。残念だったのは高橋秀樹さんの落選でした。新たな門出をお祈りするのみです。
昨年は春闘でこれまでにない大幅な賃上げを勝ち取りましたが、インフレと物価高により賃上げが追い付かなくなりました。さらに岸田内閣は、年金支給の減少、国民健康保険・社会保険料の負担増と保険証の廃止、防衛費増税など
国民不在の政治が横行闊歩しています。
改憲勢力も力を増しています。ウクライナ、パレスチナは戦争の残酷さと悲惨さを、多くの犠牲者は子どもであることを浮き彫りにしています。法を護り、あらゆる戦争に加担しない平和な国を守り続けていくことが私たちの役割です。
年末になって「政治と金」の問題が表面化しました。今年は政治が揺れ動く年になりそうです。
平和と国民生活を守ることを第一に活動してまいります。よろしくお願ひいたします。
退職者会員の皆さまのご健勝、ご多幸をお祈りいたします。

**安心・信頼、生きがいあふれる二十一世紀
県支部協一体となつて取り組もう！**

十月三十日 第二十五回福島県支部協議会定期総会開く



伏見会長の質問に答える代議員

総会開
催冒頭、
物故者に
対して黙
とうを捧
げました。
議長に
郡山地区
協の高山
代議員を
選出し、
議事に入
りました。

最初に伏見吉弘会長から次の
通り挨拶がありました。
昨年年度総会から今日までの活
動の中で特に課題と感じた点を
述べ、討論の糧にしていただき
たい。

その一つは「五
類感染症」となり、感染対策に
ついては個人の判断になりまし
たが、高齢者にとっては怖い感
染症に変わりはありません。十
分気をつけなければなりません。

その二つは会員拡大の取り組
みでは、昨年一年間で三十六名
の減員となりました。新規加入
の減少が続く、さらに減少傾向
は続くものと考えられます。こ
のことは、今後の手配り体制や
役員構成にも影響が出てきま
す。これまでの会の運営の在り
方について検討が必要です。

その三つは昨年度は県支部協
と地区協役員との直接対話を行
いました。高齢化が進む中で
の今後の活動や県支部協と地区
協との役割分担について、意見
交換を行います。
その四つは緊急連絡先の電通

共催システムへ本人以外の個人
データを登録しますが、第二連
絡先は本人の了解を得ておかな
ければ、緊急時に電話機の「拒
否設定」により連絡が出来ない
ため意味をなさず、その対応が
課題になります。

【質疑討論】

◆南相馬地区協・半谷敬一さん



◆南相馬地区協・半谷敬一さん
総会はど
の様な開催
形態か
A 対面方式
と考慮してお
り、具体的には地区協代表者
会議で確認します。

◆レク開催について、県全体
の大会も必要ではないか。
A 開催方法のあり方について
は、地区協代表者会議や対話
会で確認します。

◆高齢者対策の具体的な会員
対応について
A 第一回地区協代表者会議で
確認します。

◆三春地区協・青柳幸治さん

◆三春地区協・青柳幸治さん
OG・O
B 交流会の
案内状遅延
の理由につ
いて



A 名簿作成に時間を要したこ
とと、郵便事情も考えられます。
この後、全ての報告・提案に対
し、満場一致で承認されました。

【県支部協議会表彰】

今年度は十年表彰者で須賀川
地区協会長の星久美子さんが今
総会で表彰され、皆さんから大
きな拍手を受けました。おめで
たうございます。



表彰された星久美子さん



支部協結成50周年記念祝賀会で挨拶する伏見会長

これまでの活動を振り返り、さ
らなる飛躍を誓い合いました。

総会終
了後「福
島支部
協結成
五十周
年記念祝
賀会」を
開催し、

御礼

この度の県議会議員選挙
におきまして皆様から多く
のご支援をいただき心から
御礼申し上げます。

私の力不足により、皆さ
まのご期待にお応えするこ
とが出来ず、大変申し訳ご
ざいませんでした。

この結果に対し、お詫び
申し上げますとともに皆さ
まの力強いご支援ご協力に
心から感謝申し上げます。
失礼ではあります、書
面にてご挨拶とさせていただきます。

二〇二三年十一月

高橋 秀樹

立憲民主党 参議院議員
(NTT労働組織内)



石橋みちひろ

NTT 労働組合退職者の
会福島県支部協の皆さま、
新年明けましておめでとう
ございます。旧年中も引き
続き、私の政治活動に大き
なご支援・ご声援を賜り誠
にありがとうございました。

おかげさまで私の国政活
動も3期14年目に入りました。
おととしの参院選後から
は、参議院立憲民主党の
国会対策委員長筆頭代理として国会運営の最前線に立つと
同時に、参議院予算委員会の野党筆頭理事を兼務して政策論戦
の先頭にも立ち、国会でも立憲民主党でも重責を担う立場で
国政に邁進しております。

昨年10月末にようやく開催された臨時国会では、物価高騰
が続く中で国民生活をいかに支えていくか、さらにはウクラ
イナやパレスチナ、ミャンマーにおける重大な戦争犯罪や人
権侵害にいかに関与するかなど内外の重要課題が議論となり
ました。しかし残念ながら岸田政権は、即効性も実効性も
ない補正予算案でその場しのぎの人気取りに走る一方で、政
務三役の立て続けの不祥事発覚や政治資金に関わる疑惑の噴
出で国民からの信頼も支持も失っている状況です。

こんな状況だからこそ、あらためて私たち立憲民主党が、
働く者・生活者の立場に立つ政党として、国民生活を守り、
労働者の安心を取り戻し、誰もが安心して暮らしていける政
策を実現するため、社会保障と税の一体改革の断行を含め、
政策実現のためにこれまで以上に努力していかねばなりません。

私自身、本年も、退職者の会の先輩方のご期待に応えるべ
く、「つながって、ささえあう社会」の具現化をめざして研
鑽を重ね、全力で国政活動に邁進して参ります。どうか引き
続きの指導、応援をいただきますようお願い申し上げ、年
初にあたってのご挨拶とさせていただきます。

立憲民主党 衆議院議員



岡本あき子

新年あけましておめでと
うございます。

皆様には、日頃から大き
なご支援を賜り、私の政治
活動をお支えいただき、心
から感謝申し上げます。

立憲民主党は秋の臨時国
会から新しい人事体制とな
りました。

私は、現在、長妻昭政務
調査会長の指示で副会長を
務めています。党の政策を
つかさどるポジションです。これまで訴えてきた「だれひと
り置き去りにしない」政治を、政策に一層強く反映させてい
きたいと思っております。

また、泉健太代表が本部長となり、ライフワークである『子
ども・若者応援本部』事務局長、そして、ジェンダー平等推
進本部事務局長に就いています。

臨時国会では、通園バスの中に置き去りにされ、幼い命が
失われた悲劇を繰り返さぬよう、中心となりとりまとめた
「通園バス置き去り防止法案」を国会に提出し、政府に迫っ
た結果、『安全装置の義務化』『設置費用の全額補助』へと政
府方針を変えることができました。

さらに、維新と協議を密に重ねて「若者・子育て世代緊急
支援法案」を共同提出しました。物価高騰が国民生活に著し
い影響を与える中、若者並びに出産及び育児をする者に対し
緊急に必要な経済的支援を定め、子育てを社会全体として支
援することを目的とします。

そして、性暴力被害を受けた元女性自衛官を支援し、自衛
隊内の特別防衛監査の実施、防衛省、加害者からの謝罪の実
現に繋がりました。

これからもしっかりと結果を出し、「だれひとり置き去り
にしない」政治を実現すべく、全力で取り組んで参ります。

退職者の会福島県支部協のますますのご発展と、皆様の今
年一年のご多幸を祈念申し上げます。



私と太極拳

石川地区協議会 石田 徳子

私が太極拳を始めたのは、夫の定年退職を機に、友人にすすめられたことがきっかけで

した。夫は、軽いひざ痛があり、気にしているところでしたので、一緒に太極拳サークルに加入してスタートしました。講師は、中国出身で太極拳指導の資格を持っており、「やわらかくゆったりした運動」をモットーに約1年やった結果、夫はひざ痛が軽減されほぼ痛みがなくなったとのこと。自宅から近いところの練習場所として、町の体育館が借用できることとなり、夫が「石川太極拳クラブ」を立ち上げました。メンバーは地域の仲間を中心にNTTOBが会員となり、講師に週1回石川まで来てもらい現在に至っています。

この間、Sさんは膝痛が治り、山登りに行けるようになったとか、家の中でつまづきがなくなったとの声も聞こえるようになりました。

石川町の文化祭などで発表した時は、剣を用いた演武や、扇を使った演武など、大いに注目されました。昨年、クラブを立ち上げた夫が亡くなり、私が後継者として、これからは石川町老人会等とタイアップし、高齢者に対して太極拳による高齢者のフレイル予防など、少しでも社会貢献が出来れば良いと思っています。

なお、石川地区協の増子会長は、石川町長寿会の連合会長であり、老人会と連携して「健康寿命」を伸ばし、快適にこれからの人生を過ごすことが出来るよう相互協力していきたいと思っています。



「石川太極拳クラブ」前列右端が石田さん

会員紹介コーナー

自分の趣味・特技等元気に
楽しんでいる方々をご紹介します。



私のボランティア活動

郡山地区協議会 福眞 信子



市職員のサポーターとして講座を運営

福島支店営業部で外回りの仕事で色々なお客様との数多くの出会いがありました。退職2年前頃から退職

後は何かしらのボランティアをと考えていました。

そして、退職前の2015年に、あるお客様からA・O・Z (アオウゼ) でのボランティア活動を勧められ、サポーターとして登録しました。

アオウゼは福島市のコミュニティースペースで、市の職員と私達サポーターで講座を企画し、協同で運営する所です。

運動や講演、物づくり等の講座があります。年間2～3本の講座を自ら企画し実施します。講師との日程調整・実施計画表の作成など、スムーズに開催できるか当日までハラハラドキドキの毎日です。

今まで企画実施した講座はアンチエイジング、スマホ、法話等です。その他に他のサポーターの応援スタッフとして月3～4回の活動を行っています。

もう一つは、シニアICT普及に向けて、今年から始めた福島市シニアICTサポーターです。郡山市に住んでいますが実家が福島市に在ること、福島での勤務が長かったこと、そして情報通信会社の出身であることから、少しでもお手伝いできればと思い、エントリーしました。

福島市の学習センター（地域公民館）でスマホ教室を実施するとき、参加者の隣に座りスマホの操作を補助する仕事です。これも月1～2回の仕事ですが、それほど負担になりませんし楽しいです。

「年を重ねたら三つ以上のコミュニティを持ちなさい」と言われますが、私はぼけ防止のため…。

これからも二つのボランティア活動を続けていきたいと思っています。



スマホ教室でスマホ操作の補助を行う

本年もよろしくお願ひ申し上げます
二〇二四年 元旦

謹賀新年

電通共済生協「あゆみちゃん」
電通共済生協グループ 理事長 野里 安雄
役員社員一同

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2丁目101番地 ワテラスタワー16階



俳句を楽しんでいます

二本松地区協議会 野里 安雄



「安のり」です。

みな様明けましておめでとうございます。私はこの何年かはお正月は仕事です。年齢は傘寿一步手前です。息子のコンビニ店を手伝っておりました。担当は手作りのおにぎり、弁当です。この年齢でも働けるのは嬉しいものです。なにせ従業員はみな若く、20歳以下の娘さんとも会話出来るからです。

さて本題ですが私の本名は安雄です。なぜこの名前を使っているかは俳句をしているからです。俳句は2008年完全リタイアしてから始めました。全国新聞の俳句欄にも投稿し掲載された事もありました。インターネットではyasuの名前を使っていました。俳句入門書を読むと俳句を持ったほうが良いとのアドバイスが書いてありました。俳句をするときは日常をちょっと離れて「安のり」になり切り作る。その方がよい句が出来るとの事でした。私自身もインター

ネットではyasu、新聞では本名、そして俳句会では「安のり」で自分でも混乱します。そして古希の70歳の時「フォト575二本松」という団体を立ち上げました。これは写真俳句です。以後俳句関係で遊ぶときはこの「安のり」を使うと決め、現在に至っています。名刺もこの名前で作りました。写真俳句は難しい決め事はありません。一枚の写真に1句添えて楽しめるのは、今や私の生き甲斐になっておりました。福島民報やブログでも見かけたら、気軽にコメント頂けると大変うれしく思います。辰年の今年も竜雲に乗って山野を駆け巡り、俳句活動を続けるつもりです。



【俳句】

- 七体の表情それぞれ
七変化
- とまどいも
希望も全て初日の出
- 銀河へと
夢のこちと手を繋ぐ



退職30年の今

須賀川地区協議会 藤井 誉子



NTTを退職してから早いもので、30年になりました。時間ができてからと後回ししてきた家事仕事も、3ヶ月もすれば終わり、そんな時友人に誘われるままに習字、押し花、謡曲、更に昔から好きだった手芸と、いろいろな趣味の会に入り、すっかりのめり込んでしまいました。

また、少しばかりのボランティア活動にも参加し、今までの仕事仲間とは違った人達との付き合いは、新鮮で充実した日々でした。勿論、人並に孫の世話・旅・運動と忙しい日もありました。

しかし、コロナウイルスの発生で生活が一変してしまいました。趣味の会は休会し外出もままならず、息子や孫にも余り逢うこともなくなり、老人ふたり家にこもりがちになりました。

1年毎に体力、知力も衰える中、これではまずいと3年前より散歩を日課のひとつに入れました。歩くコースは、人にも触れず、密になる事もなく、車の心配もなく安心・安全な町の公園の中です。園内を3キロ程歩き、備え付けの器具を使い軽い運動をします。

四季折々の変化を楽しみ、些細なことに感動し楽しいです。



のんびり手芸を楽しむ



仲間との交流は最高です

今の体力を維持し、歳を重ねても自分のことを自分でできることを目標に取り組んでおります。今年に入り趣味の会も再開し、続けております。「継続は力なり」です。

振り返り そして今

相馬地区協議会 工藤 晴弘



就職してから現在までを要約してみました。

昭和38年東京港区の地区管理部に採用され、配属は芝電話局機械課に。近くに東京タワー、増上寺や芝公園があり散策の場所でした。仕事は交換機の保守業務で最初はA形交換機、その後宮城県塩釜電話局に転勤、此处ではクロスバー交換機で、松島湾にある桂島の交換機の保守業務も体験。次は仙台青葉通り電話局でクロスバー交換機、電子交換機D10、次は長町電話局クロスバー交換機、そして仙台に戻り、電子交換D70交換機保守業務から、お客様サービス業務で苦竹のアーバンネットビルの試験課に移動。2000年ソフト問題が心配でしたが、問題なく2001年に退職、この間試験課業務を除き全て交換機の保守業務で、交換機はA形交換機、クロスバー交換機、電子交換機D10、D70、エンジェル交換機、訓練は東京駒場学園でA形交換機の回路図の学習、受話器を取り発信音が出るまでの回路の動作は数日かかりました。仙台学園での訓練生は、夜の談話室での思い出があるでしょう。デジタル交換機は東京中央学園、一番長い訓練は北海道の札幌学園での設計訓練で、約2カ月の訓練でした。直営で交換機の工事の為、必要な知識を勉強しました。長期の訓練でしたが、近くに藻岩山スキノも近くにあり、地元訓練生の観光ガイドが息抜きでした。直営工事は松島電話局の交換機に広域時分制の課金リンクの設置工事で、動作確認の電源のヒューズ挿入の時は、心拍数が跳ね上がりました。退職後は当然退職者の会、電友会等、そして地元の組織で行っている活動の一番のやり甲斐は、老人会で毎月行う行事の計画実行で、楽しく頑張っています。



老人会行事の計画はやり甲斐がある

海外登山に憧れて

会津地区協議会 高橋 庄衛



ジャンダルム (3,163m) にて

私の趣味は、登山と風景写真を撮ることです。本格的に登山を始めたのは、高校の山岳部に入ってからになります。卒業後は、喜多方の山岳会に所属し、念願のカメラを手にして、写真撮影も趣味に加わりました。そして、富士山や日本アルプスに活動範囲を広げていき、海外の山にも興味を持ち始めました。そんな中、1994年(38歳)に山岳部の先輩からスイスアルプスに誘われ、山岳会の仲間と憧れの「マッターホルン」の麓のツェルマットをベースに4,000m級の山々を登ってきました。その後、2000年(44歳)に「チョモランマ2000登山隊」の高度順応登山に参加(約1ヶ月)する機会を得て、ネパールの「メラ・ピーク(6,654m)」に登頂し、エベレスト、ローツェ、マカルー等の8,000m峰をこの目で見る事ができました。2009年と2018年に、世界第2の高峰であるパキスタンのK2(8,611m)に「北日本海外登山研究会」として遠征隊を派遣し、2018年には副代表(事務局)として後方支援を行い、6名の隊員がK2山頂を踏むことができました。

現在は、主に県内の山と年1回の北アルプスへの遠征を楽しみに、もう一度ヒマラヤの高峰を見ながらのトレッキングを目標に、今までの出会いに感謝し、体力と相談しながら安全第一で登山を続けていきたいと思っています。



ツェルマット(スイス)からマッターホルン(4,478m)を望む

竹箒づくり 福島地区協議会 齋藤 秀一



私は1954年生まれの68歳です。宮城県丸森町との県境に近い伊達市梁川町で生まれました。8・5水害に遭い、阿武隈川河川改修事業で阿武隈急行梁川駅前に引っ越しました。

現在は趣味と実益を兼ね、生まれた土地にあった竹林を整備しタケノコを採っています。タケノコが良く出るように毎年20~30本ぐらい間引きし、日当たりを良くしています。問題は切った竹の処分でした。猪に筒を食べられていたので竹垣を作り防ぐことにしました。おかげで被害はなくなりました。竹垣は1回作ると3~4年持ちます。残った枝をどうしようかと考えて竹箒を作ることにしました。最近では見た目も出来もだいぶ良くなってきています。作るよりも準備に時間がかかります。枝は地面に放置し葉が自然に落ちるのを待ち、必要な長さに切り揃えます。1本の竹箒を作るために4種類の長さの枝が50本ほど必要になります。柄も必要です。孟宗竹(筒を採る)ではなく真竹を使います。昔は竹製品をつくるために専門の業者さんが毎年切りに来ていました。今は荒れ放題ですが幸い使う分くらいは切ることが可能です。夏に切った竹には虫が湧き虫食い竹になってしまうので、竹が水を吸い上げなくなる10月に手ごろな太さの竹を切ります。準備をしておいて空いた時間に作ることにしており、この時間が自然相手の楽しみです。作ったものは友人・知人に配って喜ばれています。最近落ち葉集めに使う熊手も作っています。



イノシシ除けの竹垣を作る

今年は筒が不作でしたが、採った筒は瓶詰や塩漬けに加工し1年を通して食べます。自分で作ったものを食べる楽しみもあります。体と心の健康のために長く続けたいと考えています。



立派に完成した箒と熊手